

---

# スーパーシティ区域方針の変更（案）

---

2025年 6 月  
内閣府  
地方創生推進事務局

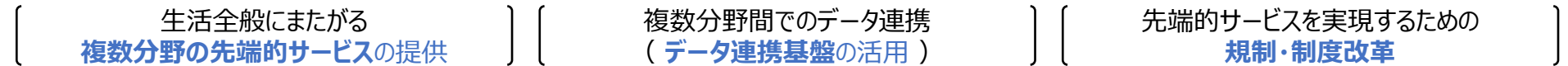


# スーパーシティのフェーズアップについて（案）

- **スーパーシティ**については、令和4年4月に、**つくば市、大阪府・市の2区域を指定**し、先端的服务に係る実証やデータ連携基盤の整備等、取組を着実に推進。
- 指定から約3年が経過し、**これまでの取組の進捗状況・成果を振り返りつつ、取組の更なるフェーズアップ**について関係者間で議論※。 ※国家戦略特区WGヒアリング（R7.4.23、5.15）、国家戦略特別区域会議（R7.5.29）
- これらの議論を踏まえ、**スーパーシティとしての今後の取組の方向性を関係者間で共有**するため、**区域方針を改定**することとしたい。

## スーパーシティの概要

スーパーシティは、国家戦略特区として、規制・制度改革とデータ連携を一体的に進めることで、様々な生活分野において先端的服务を実装し、未来社会の先行実現を目指すもの。



### つくば市

大学等の研究開発の成果や多様な人材を生かし、産学官連携の下、幅広い分野におけるデジタル技術を活用したイノベーションを実現し、「**誰一人取り残さない**」包摂的な社会のモデルを構築する。

#### <これまでの主な取組>

##### ○規制・制度改革事項

パーソナルモビリティの速度制限緩和、インターネット投票に向けたオンデマンド期日前投票 等

##### ○データ連携基盤

パーソナルデータの利活用に係るプライバシー影響評価（PIA）の仕組み構築 等

#### <区域方針の改定のポイント>

- インターネット投票や生成AIを活用した市民の声の見える化により、誰もが政策に声を届けることのできる仕組みを構築し、住民のニーズを確認。
- これまで進めてきたサービスについて、**実証から実装へ重点化**を図るとともに、**新たなサービス開発等**を並行的に進める。

### 大阪府・市

「夢洲」、「うめきた2期」という2つのグリーンフィールドを中心に、2025年開催の万博レガシーを継承していくことも見据え、先端的服务により、**住民の生活の質向上と都市競争力の強化**を図る。

#### <これまでの主な取組>

##### ○規制・制度改革事項

空飛ぶクルマに関する制度整備、AIを活用した気象予報士の設置基準の緩和 等

##### ○データ連携基盤

データ連携基盤（ORDEN）の整備・運用 等

#### <区域方針の改定のポイント>

- 「夢洲」「うめきた2期」以外のフィールドにおいても、先端的服务が継続的に創出される仕組みを構築。
- データ連携基盤について、**データの拡充及び利活用の促進**、地方公共団体間における**共同利用の促進等**に取り組む。

## これまでの取組・成果

### つくばスーパーサイエンスシティ構想 ～科学で新たな選択肢を、人々に多様な幸せを～

社会全体が一人ひとりを包み込み、支え合う「誰一人取り残さない」SDGsの精神の下で、つくばに集積する科学技術を結集し、デジタル、ロボティクス等の最先端技術の社会実装と都市機能の最適化を進めてきた。

 令和元年につくばスマートシティ協議会を設立し、**企業・大学・研究機関・住民との連携**により、住民が抱える課題の解決に資する又は未来志向のサービスを精力的に組成し実証に挑戦（令和6年に一般社団法人化、**会員57機関（筑波大、産総研等多数の研究・教育機関、企業等が加入）**）

#### 主な規制改革・サービス

▶ 地域住民と対話しながら、特区指定以降、**社会実装に至る事例が出始める**等、着実に成果を挙げている

#### インターネット投票



ネット投票  
市長2期目行政運営  
全国ネット  
6社取材

【規制改革提案】

移動期日前投票所の柔軟な  
告示（R5.9全国措置化）

#### スマートモビリティ実装



AIオンデマンド  
タクシー  
R7.4実装

【規制改革提案】

- ・ パーソナルモビリティの最高速度引上げ（R3年度提案）
- ・ パーソナルモビリティポート整備場所に係る解釈拡大（R6年度提案）等

#### 小児オンラインかかりつけ医



休日・夜間  
小児デジタル  
急患センター  
R6年度実装

【規制改革提案】

時間外対応加算2における  
施設基準の新設（R6.4全国措置化）

#### データ連携基盤に関する取組

▶ 寄せられた市民の声や都市データをデータ連携基盤に集積し、生成AIを活用してニーズや課題を可視化することで精度の高い政策の実現を目指す。

#### 生成AIを活用した「市民の声の見える化」との連携



定性的データの  
要約・可視化  
R6年度構築

#### プライバシー影響評価(PIA)



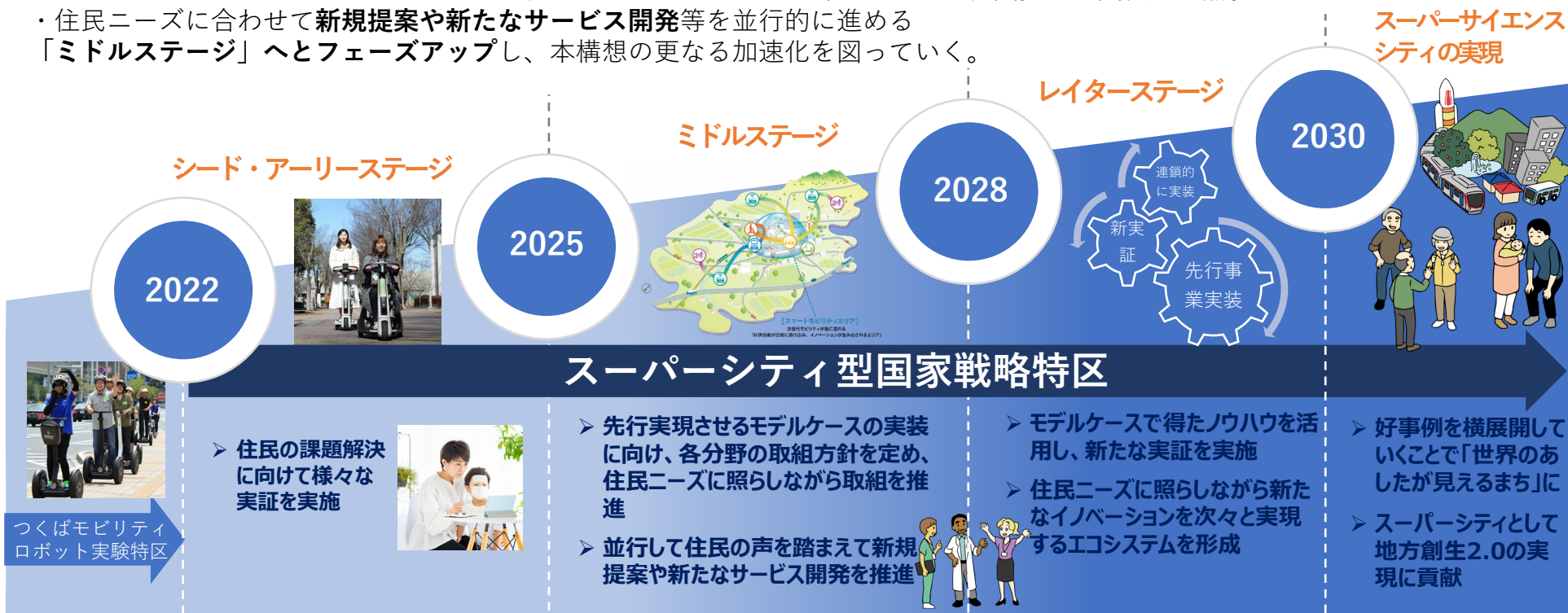
全国先駆け  
市民参加型制度設計  
R6年度とりまとめ

▶ 先端的サービスとともにプライバシーへの配慮の制度化に着手

# 「ミドルステージ」へのフェーズアップ～住民と住民、住民と行政のつながりを深化～

インターネット投票や生成AI等のデジタル技術により誰もが政策に声を届けることのできる仕組みを構築し、より多くの住民のニーズを確認しながら、

- ・これまで組成してきたサービスについて、各分野における取組方針を明確化し、**実証から実装へ重点化**するとともに
  - ・住民ニーズに合わせて**新規提案や新たなサービス開発**等を並行的に進める
- 「ミドルステージ」へとフェーズアップし、本構想の更なる加速化を図っていく。



| ミドルステージ先行実現重点事業スケジュール |                   | 2025年度                                                 | 2026年度    | 2027年度                            |
|-----------------------|-------------------|--------------------------------------------------------|-----------|-----------------------------------|
| 行政サービス                | インターネット投票         | 住民意向確認等での活用（※オンデマンド期日前投票所を実施しつつ、特例が認められ次第、速やかに公職選挙で実施） |           |                                   |
|                       | 行政窓口のデジタル化        | DXaaS導入準備                                              | システム設計・開発 | DXaaSシステム運用開始（証明書） サービス内容拡大（届出手続） |
| モビリティ                 | スマートモビリティプラットフォーム | 仕様検討                                                   | 構築        | 事業開始                              |
|                       | ハンズフリーチケットティング    | システム構築・検討                                              | サービス実証    | 事業開始                              |
|                       | つくばスマートモビリティ      | 公道実証等（※特例が認められ次第、速やかにサービスとして実装）                        |           |                                   |
|                       | パーソナルモビリティ        | 公道実証等（※特例が認められ次第、速やかにサービスとして実装）                        |           |                                   |
|                       | 自動運転バス            | 体制構築・車両導入                                              | 実験走行      | レベル4 許認可申請                        |
| 医療福祉介護                | オンライン在宅療養支援       | サービス設計検討                                               | サービス実証    | 事業開始                              |
|                       | 「もしもの時」を支える情報連携   |                                                        |           |                                   |



# 大阪のスーパーシティのテーマ：データで広げる“健康といのち”

「健康といのち」をテーマに住民QoLを向上させる先端的服务を展開

## 1. これまでの取組

2025年大阪・関西万博をマイルストーンとして、「夢洲」・「うめきた2期」という2つのグリーンフィールドにおいて、「夢洲コンストラクション」、「大阪・関西万博」、「うめきた2期」といったプロジェクトを進めてきた。

### データで広げる“健康といのち”

2023年度～  
夢洲コンストラクション



提供：2025年日本国際博覧会協会

2025年度  
大阪・関西万博

2024年度～  
うめきた2期



提供：グラングリーン大阪開発事業者

住民QoLの向上と  
都市競争力の強化を  
めざす

輝く未来社会

### ○夢洲コンストラクション

- ・大阪・関西万博に向け、2023年度から建設工事が本格化。
- ・規制・制度改革及び先端的服务により、工事現場内外の移動や、作業員の安全・健康管理の円滑化等を推進。

### ○大阪・関西万博

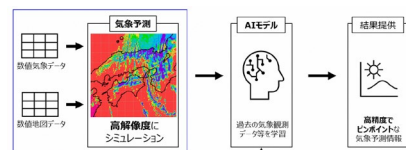
- ・「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとした2025年大阪・関西万博において、ヘルスケアやモビリティ等の先端的服务に係る取組を実施。

### ○うめきた2期

- ・2024年9月、先行まちびらきを実施。
- ・IoT活用等により、人々が健康で豊かに生きるための新しい製品・サービスの創出につながる環境を整備。

## これまでに実現した主な規制改革・サービス

- ・AIを活用した気象予報に係る気象予報士の設置基準の緩和(2022.12に全国措置化)
- ・特定自動運行(自動運転走行(レベル4)の運転者がいない状態での自動運転)の許可制度の創設(2023.4に全国措置化)
- ・空飛ぶクルマの社会実装に向けた制度整備(2024.3に全国措置化)



大阪ガス・大林組公表資料より

気象庁の予測結果



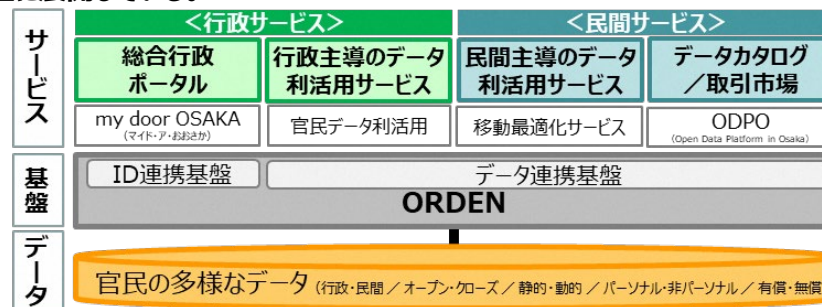
Osaka Metro公表資料より



経済産業省HPより

## 大阪広域データ連携基盤【ORDEN】

様々な主体の多様なデータの利活用を促し、データ駆動型スマートシティを実現。  
2023年3月より稼働。総合行政ポータルサイトやデータカタログ機能等を基盤上に展開している。



## 2. 万博後の展開

大阪スーパーシティの持続的発展のため、万博後における新たな展開に係る府市の方針・取組等の具体化について検討をすすめる。

### 先端的サービス・規制改革

#### 1 夢洲・うめきた 2 期におけるさらなる展開

万博後の未来社会の実現に向けた規制・制度改革に係る新規提案やプロジェクトで実現した先端的サービスの展開促進を図る。

事例 1 夢洲 2 期開発におけるサービスの実装  
(夢洲コンストラクションで導入したAI気象予測サービス等の展開)



(株)大林組提供

事例 2 万博で実証した先端技術の社会実装  
(自動運転や空飛ぶクルマ、大阪ヘルスケアパビリオンに出展するスタートアップ技術等)



Osaka Metro HPより

事例 3 うめきた 2 期全体まちびらきに向けたサービス開発  
(スタートアップ等と連携し、PHRを活用した新たなサービスの創出等)



Grangreen大阪HPより

#### 2 新たなフィールドへの展開

夢洲・うめきた 2 期以外のフィールドにおいても、新たにスーパーシティの取組を行おうとするエリア・企業等を大阪府・市が募集・選定し、エリアと企業等のマッチングや規制・制度改革提案の共同検討等を行い、先端的サービスが継続的に創出される仕組の構築に向け検討する。令和 8 年度以降、当該仕組の本格稼働を開始する。

##### 【新たな展開のイメージ】



### データ連携基盤【ORDEN】

#### 3 データ連携基盤の利活用推進と共同利用展開

##### (1) 一層の利活用推進

my door OSAKA や ODPO など、実装しているサービスの更なる展開と、「夢洲」・「うめきた」・「新たなフィールド」における一層の利活用を推進する。

##### 1. my door OSAKA

(マイド・ア・おおさか)  
市町村展開、サービスの拡充



##### 2. ODPO

(Open Data Platform in Osaka)

官民データの更なる拡充と利活用推進、ハッカソン等によるユースケース創出



ODPOカタログ

##### 3. その他のデータ利活用推進

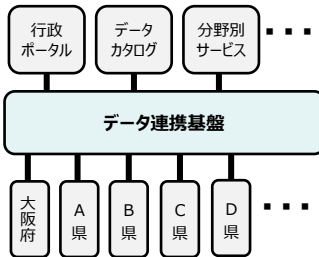
“移動最適化”サービスの展開、オープンデータの“見える化”の充実



##### (2) 地方公共団体間における共同利用展開

データ駆動型社会の実現を加速するとともに、その成果を横展開し、持続的に発展させるため、共同利用にも取り組む。

##### 【共同利用イメージ】



##### ① データ連携基盤の共同利用推進

開発・運用コストの低減や、多様で質の高いサービス提供等、共同利用に取り組む意義・メリットを整理・展開し、共同利用を推進する。

##### ② 共同利用のためのスキーム構築

複数団体で持続的にデータ連携基盤を共同利用するスキームを設計・構築する。

#### スケジュール

#### フェーズⅠ(～2024年)

#### フェーズⅡ(2025年)

#### フェーズⅢ(2026年～)

| 夢洲                  | 夢洲コンストラクション/大阪・関西万博 | サービス内容検討・実証/実装<br>(万博関連整備) |             | 万博開催                      |  |                     |  |
|---------------------|---------------------|----------------------------|-------------|---------------------------|--|---------------------|--|
|                     | 夢洲 2 期              | マスタープラン策定                  |             | サービス実装(万博跡地撤去)<br>新サービス検討 |  | サービス実装(跡地開発)        |  |
| うめきた 2 期            |                     | サービス内容<br>検討・実証            | 先行<br>まちびらき | サービス実証・提供                 |  | 全体開業                |  |
| 新たなフィールド            |                     |                            |             | 対象エリアにおける実証的調査<br>先行事例調査  |  | 新たな仕組の検討<br>仕組の運用開始 |  |
| 大阪広域データ連携基盤 (ORDEN) |                     | データ<br>基盤開発                | ID基盤<br>開発  | 基盤運用・共有化                  |  |                     |  |

**1. 対象区域**

茨城県つくば市

**2. 目標**

スーパーシティ型の国家戦略特区として、複数分野の大胆な規制・制度改革と併せて、データ連携基盤を活用して複数の先端的サービスを官民連携により実施することを通じて、世界に先駆けて、2030 年頃の実現される未来社会を先行実現することを目指す。

大学や研究機関の研究開発の成果や多様な人材を生かし、産学官連携の下、移動・物流、健康・医療、まちづくり、行政手続等幅広い分野におけるデジタル技術を活用したイノベーションを実現し、高齢者、こども、外国人、障害者を含め「誰一人取り残さない」包摂的な社会のモデルを構築する。

その際、デジタル技術により誰もが政策に声を届けることのできる仕組みを構築し、住民と住民、住民と行政のつながりを深化させ、地域の課題解決に資する先端的サービスを順次社会に実装し、そのノウハウから新たなイノベーションを次々と実現するエコシステムを形成する。

**3. 政策課題**

- (1) 人口減少・高齢化等の社会課題に対応した移動手段や物流サービスの確保
- (2) 安心して健康な生活を送ることのできる医療・介護サービスの提供
- (3) 外国人、障害者等を含む全ての住民が活躍できる包摂的な社会の実現
- (4) 行政手続のデジタル化の推進等によるデータ駆動型地域共生社会の実現
- (5) 大学・研究機関・産業界等と連携した科学技術・イノベーション拠点の創出

**4. 事業に関する基本的事項**

(実施が見込まれる特定事業等及び関連する規制改革事項)

**<移動・物流>**

- ・ パーソナルモビリティや自動運転バス等の新しいモビリティサービスの創出及び他の交通手段との連携や、ハンズフリーチケット等を活用したシームレスな移動・物流サービスの提供【移動支援ロボット、近未来技術実証ワンストップ、地域限定型 規制のサンドボックス】

**<都市再生・まちづくり>**

- ・ 先駆的な 3D デジタル基盤の構築と関連サービスの提供【3次元空間デジタル基盤】

<雇用・労働>

- ・ 外国人研究者による創業活動の促進【外国人創業活動支援、開業ワンストップ、外国人雇用相談】
- ・ ロボットを活用した障害者の雇用機会の拡大

<健康・医療>

- ・ データ連携等による健康・医療サービスの提供
- ・ 休日夜間オンライン診療サービスの円滑な提供に必要な体制の構築

<行政手続>

- ・ インターネット投票の実施による住民の政治参加の促進
- ・ マイナンバーカードを活用した幅広い分野の行政手続のデジタル化【マイナンバー利用範囲等拡大】

<研究開発>

- ・ 大学の土地・建物や研究機関の施設等を活用したイノベーションの推進【研究開発推進施設整備、財産処分】

<データ連携基盤の活用等その他>

- ・ 複数分野にわたる先端的サービスを支えるデータ連携基盤の整備・運用
- ・ A I の活用による先端的サービス等の高度化

<その他>

- ・ 上記のほか政策課題の達成に必要な事項



### 1. 対象区域

大阪府大阪市

### 2. 目標

スーパーシティ型の国家戦略特区として、複数分野の大胆な規制・制度改革と併せて、データ連携基盤を活用して複数の先端的サービスを官民連携により実施することを通じて、世界に先駆けて、2030 年頃の実現される未来社会を先行実現することを目指す。

2025 年大阪・関西万博の開催地である「夢洲」、都心の大規模ターミナル前に立地する「うめきた 2 期」という 2 つのグリーンフィールドを中心に、万博のレガシーをの継承していくことも見据えを含め、「空飛ぶクルマ」の社会実装や先端国際医療の提供、リアルとデジタルが融合した未来の公園等の先端的サービスの実装を進める。あわせて、これら以外のフィールドにおいても官民一体となって先端的サービスが継続的に創出される仕組みを構築し、その社会実装に結びつける好循環を実現する。

その際、データ連携基盤を最大限活用することでデータ駆動型社会の実現を図るとともに、その広域での共同利用を進めることで横展開と持続的発展を目指す。

これらの取組により、住民の生活の質向上と都市競争力の強化を図る。

### 3. 政策課題

- (1) ストレスフリーな最適移動社会の実現
- (2) 豊かに暮らす健康長寿社会の実現
- (3) 活力にあふれるデータ駆動型社会の実現

### 4. 事業に関する基本的事項

(実施が見込まれる特定事業等及び関連する規制改革事項)

<移動・物流>

- ・ 空飛ぶクルマの社会実装【空飛ぶクルマ】
- ・ 自動運転バス等による効率的な輸送
- ・ 次世代都市型 MaaS の社会実装

<健康・医療>

- ・ 国際的視点も備えた先端医療サービスの提供
- ・ 健康・医療情報を活用した未来型サービスの実現【機能性表示食品】

<まちづくり・防災>

- ・ 都市公園等の公共空間における先端的サービスの提供【ローカル 5G、仮設

工作物等】

- ・ ドローンやB I M等の活用による建設現場の革新
- ・ A Iを活用した気象予報の実施【気象予報】

<データ連携基盤の活用等その他>

- ・ 複数分野にわたる先端的サービスを支えるデータ連携基盤の整備・運用
- ・ データ連携基盤に係るデータの拡充及び利活用の促進
- ・ データ連携基盤の地方公共団体間における共同利用の促進

<その他>

- ・ 上記のほか政策課題の達成に必要な事項